

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
〔新富座芸評〕 〔明治14・3新富座〕	劇評	高須高燕・ 梅素薫・ 富田砂筵／撰		歌舞伎評判記	第十二編	明治17年7月 植木林之助
〔新富座芸評〕 〔明治14・3新富座〕	劇評	高須高燕・ 梅素薫・ 富田砂筵／撰		『六二連 俳優評判記 中』	14編	平成16年3月 日本芸術文化振興会 ※法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書・9」
歌舞伎座評判記 〔明治23・10歌舞伎座〕	劇評	六二連 梅素薫 高須高燕		歌舞伎新報	第千九百十四 ～第千九百十 六号	明治43年12月
歌舞伎座評判記 〔明治23・10歌舞伎座〕	劇評	六二連 梅素薫 高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 ※法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書・10」
霽行記 〔明治33・3歌舞伎座〕	劇評	隠流		歌舞伎(第一次)	第3号	明治33年3月 歌舞伎発行所
歌舞伎座役割狂歌合	狂歌	蟹廼家左文ほか十九家		歌舞伎(第一次)	第3号	明治33年3月 歌舞伎発行所
忍逢春雪解 〔明治33・3歌舞伎座〕	戯曲 劇評	故人黙阿弥／作 今人朧阿弥／評		歌舞伎(第一次)	第3号	明治33年3月 歌舞伎発行所
菊五郎の河内山	雑報		《5》尾上菊五郎	歌舞伎(第一次)	第3号	明治33年3月 歌舞伎発行所
芝居覚帳(一)	評伝	冬瓜坊	《5》尾上菊五郎	歌舞伎(第一次)	第5号	明治33年8月 歌舞伎発行所
歌舞伎座合評 〔明治38・11歌舞伎座〕〔三幅対上野風景〕	劇評	小山内撫子 吉田白甲 三木竹二 水口菫陽		歌舞伎(第一次)	第68号	明治38年12月 歌舞伎発行所
「河内山」の型 〔明治39・9国華座〕	型	清潭生／編	《3》市川新十郎／談	歌舞伎(第一次)	第78号	明治39年10月 歌舞伎発行所
床山の今昔(続)〔松江の殿様〕	解説	兼子伴雨		歌舞伎(第一次)	第96号	明治41年7月 歌舞伎発行所
京の芝居 〔明治41・8京都明治座〕	劇評	宮島春斎		歌舞伎(第一次)	第98号	明治41年9月 歌舞伎発行所
名古屋で見た芝翫一座 〔明治42・1名古屋末広座〕	劇評	花つくり簀作		歌舞伎(第一次)	第103号	明治42年2月 歌舞伎発行所
文士俳優身上咄〔高木小左衛門〕	自伝	鳥居清忠		歌舞伎(第一次)	第114号	明治43年1月 歌舞伎発行所
天衣紛上野初花 〔明治43・2三崎座〕	みたまま	うしほ		演芸画報	明治43・3	演芸画報社
天衣紛上野初花 〔明治43・2三崎座〕	みたまま	うしほ		『「芝居見たまま」明治篇』	三	平成27年2月 日本芸術文化振興会 ※「歌舞伎資料選書・12」
大道具の話(二)〔松江屋敷・杉戸〕	解説	伊坂梅雪		歌舞伎(第一次)	第115号	明治43年2月 歌舞伎発行所
大道具の話(二)〔つなぎ幕〕	解説	伊坂梅雪		歌舞伎(第一次)	第115号	明治43年2月 歌舞伎発行所
羽衣座の盆芝居 〔明治43・7羽衣座〕	劇評	山野芋作		歌舞伎(第一次)	第122号	明治43年8月 歌舞伎発行所

三崎座と品川座 [明治43・11品川座]	劇評	代地生		歌舞伎(第一次)	第126号	明治43年12月 歌舞伎発行所
羽左衛門の芸 [明治45・1仙台仙台座]	劇評	伽羅五城		歌舞伎(第一次)	第140号	明治45年2月 歌舞伎発行所
東京座の「狐忠信」 [明治45・6東京座]	劇評	柳波子		歌舞伎(第一次)	第146号	明治45年8月 歌舞伎発行所
二月狂言褒べき者 [大正2・2蓬萊座]	劇評	幸堂得知		歌舞伎(第一次)	第153号	大正2年3月 歌舞伎発行所
蓬萊座の文覚と直侍 [大正2・2蓬萊座]	劇評	春浦生		歌舞伎(第一次)	第153号	大正2年3月 歌舞伎発行所
黙阿弥著作解題(其十五)	解説 梗概	河竹新水		歌舞伎(第一次)	第158号	大正2年8月 歌舞伎発行所
歌舞伎座盆興行 [大正2・7歌舞伎座]	劇評	下町二人娘		歌舞伎(第一次)	第158号	大正2年8月 歌舞伎発行所
七月の劇場 歌舞伎座 [大正2・7歌舞伎座]	劇評	青々園		歌舞伎(第一次)	第158号	大正2年8月 歌舞伎発行所
「河内山」に就いて	型	川尻清潭		演芸画報	大正2・8	演芸画報社
「河内山」に就て	考証	川尻清潭		演芸画報	大正2・8	演芸画報社
楽屋風呂	雑話	大愚生		演芸画報	大正2・9	演芸画報社
河内山に扮して 市川左団次 連続図	型	松田青風	《2》市川左団次	演芸画報	大正3・6	演芸画報社
劇評の劇評 両座の「河内山」 [大正3・5帝国劇場/大正3・5本郷座]	劇評	一記者		歌舞伎(第一次)	第168号	大正3年6月 歌舞伎発行所
本郷座の左団次一座 [大正3・5本郷座]	劇評	楠山正雄		演芸画報	大正3・6	演芸画報社
私の河内山は	芸談		《7》松本幸四郎	演芸画報	大正3・6	演芸画報社
劇談会「河内山」の高木小左衛門	解説	青々園		歌舞伎(第一次)	第169号	大正3年7月 歌舞伎発行所
天衣紛上野初花 [大正4・2市村座]	見たまま	吉原雀平		演芸画報	大正4・3	演芸倶楽部
市村座の「河内山」より	スケッチ	瀬井珊郎		演芸画報	大正4・3	演芸倶楽部
市村座見物記 [大正4・2市村座]	劇評	鬼太郎		演芸画報	大正4・3	演芸倶楽部
菊五郎の直侍 [大正5・3帝国劇場]	劇評	井桁佐平		新演芸	大正5・4	玄文社
楽屋訪問記 源之助と左団次の部屋から〔市之丞〕	芸談		《2》市川左団次	演芸画報	大正5・12	演芸倶楽部

河内山実伝	実録			『近世実録全書』	第十三巻	昭和4年8月 早稲田大学出版部 坪内逍遙／鑑選
河内山と直侍	解説	飯塚友一郎		『歌舞伎狂言細見』		大正8年9月 歌舞伎新報社
三千歳直侍	実説	三田村鳶魚		『芝居の裏おもて』		大正9年3月 玄文社
梅幸夜話 世話物の女〔三千歳〕	芸談		《6》尾上梅幸	新演芸	大正9・11	玄文社
天保六家選大顔 〔未詳・9明治座〕	絵	名取春仙		演芸画報	大正10・10	演芸倶楽部
明治座の河内山 〔大正11・3明治座〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	大正11・4	演芸倶楽部
河内山写生帖 〔大正11・3明治座〕	スケッチ	名取春仙		演芸画報	大正11・4	演芸倶楽部
河内山 〔大正12・5明治座〕	見たまま	水屋大羊		演芸画報	大正12・6	演芸倶楽部
明治座を見て 〔大正12・5明治座〕	劇評	関口次郎		演芸画報	大正12・6	演芸倶楽部
中村吉右衛門の「河内山」の型	型	大橋月皎／絵		新演芸	大正12・6	玄文社
明治座の河内山 〔大正12・5明治座〕	劇評	鬼太郎		新演芸	大正12・6	玄文社
河内山宗春余談	鑑賞	三田村鳶魚		『鳶魚劇談』		大正14年9月 春陽堂
河内山と直侍	解説	飯塚友一郎		『歌舞伎細見』		大正15年10月 第一書房
河内山と直侍に就て	考証	伊坂梅雪		演芸画報	大正15・11	演芸画報社
河内山と直侍 〔大正15・11帝国劇場〕序幕 湯島の天神	見たまま	今谷久平		演芸画報	大正15・12	演芸画報社
河内山と直侍 〔大正15・11帝国劇場〕二幕目 星が飛んだか	見たまま	吞木藤三		演芸画報	大正15・12	演芸画報社
河内山と直侍 〔大正15・11帝国劇場〕三幕目 松江の上屋敷	見たまま	萩野村人		演芸画報	大正15・12	演芸画報社
通し狂言「河内山と直侍」 幸四郎と問答〔宗俊・市之丞〕	芸談		《7》松本幸四郎	演芸画報	大正15・12	演芸画報社
通し狂言「河内山と直侍」 宗十郎と問答〔松江候〕	芸談		《7》沢村宗十郎	演芸画報	大正15・12	演芸画報社
河内山と直侍 〔大正15・11帝国劇場〕四幕目 比企の屋敷	見たまま	早瀬福太郎		演芸画報	大正15・12	演芸画報社
通し狂言「河内山と直侍」 松助と問答〔丈賀・勘八〕	芸談		《4》尾上松助	演芸画報	大正15・12	演芸画報社

通し狂言「河内山と直侍」 羽左衛門と問答〔直次郎〕	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	大正15・12	演芸画報社
河内山と直侍 〔大正15・11帝国劇場〕五幕目 入谷の蕎麦屋	見たまま	原町十兵衛		演芸画報	大正15・12	演芸画報社
通し狂言「河内山と直侍」 勘弥と問答〔丑松・小左衛門〕	芸談		《13》守田勘弥	演芸画報	大正15・12	演芸画報社
河内山と直侍 〔大正15・11帝国劇場〕大詰 大口の寮	見たまま	稲元美美之助		演芸画報	大正15・12	演芸画報社
通し狂言「河内山と直侍」 梅幸と問答〔三千歳〕	芸談		《6》尾上梅幸	演芸画報	大正15・12	演芸画報社
芝居内と外 帝劇の「天衣紛上野初花」 〔大正15・11帝国劇場〕	劇評	内 その作者		演劇新潮	大正15・12	新潮社
芝居内と外 帝劇を見る 〔大正15・11帝国劇場〕	劇評	外 三宅周太郎		演劇新潮	大正15・12	新潮社
三千歳直侍	考証	三田村鳶魚		『芝居ばなし』第二編		昭和2年1月 宝文館
天衣紛楽屋漫談 本郷座の菊吉顔合せ	芸談	角川漁人／記	《1》中村吉右衛門 《7》坂東三津五郎 《3》中村時蔵 《7》坂東三津五郎 《6》尾上菊五郎	演芸画報	昭和2・5	演芸画報社
四月の劇界 〔昭和2・4本郷座〕	劇評	三宅周太郎		演劇新潮	昭和2・5	新潮社
河内山 〔昭和4・10歌舞伎座〕〔松江邸〕	見たまま	梅柳宵之助		歌舞伎(第二次)	昭和4・10	宝文館
「河内山」の開く前	解説	渥美清太郎		歌舞伎(第二次)	昭和4・10	宝文館
河内山、直侍、三千歳	考証	矢田挿雲		歌舞伎(第二次)	昭和4・10	宝文館
特集「河内山」研究	特集			演芸画報	昭和4・11	演芸画報社
「河内山」研究 木挽町の河内山 〔昭和4・10歌舞伎座〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和4・11	演芸画報社
「河内山」研究 河内山雑俎	雑話	三島霜川		演芸画報	昭和4・11	演芸画報社
「河内山」研究 羽左衛門の河内山 〔昭和4・10歌舞伎座〕	劇評	浅山哲三		演芸画報	昭和4・11	演芸画報社
「河内山」研究 講談の河内山	講談	猫遊軒伯知		演芸画報	昭和4・11	演芸画報社
九月の歌舞伎座 〔昭和7・9歌舞伎座〕	劇評	高安月郊		演芸画報	昭和7・10	演芸画報社
舞台陶酔境 冴え返る	随筆	岡本綺堂		演芸画報	昭和9・1	演芸画報社

ちよつと一言〔直侍〕	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和9・2	演芸画報社
	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和9・2	演芸画報社
冥府通信 無線電話(6)〔河内山〕	演出	花水庵		演芸画報	昭和9・8	演芸画報社
左団次と羽左の河内山 〔昭和9・7歌舞伎座〕	劇評	三宅三郎		『歌舞伎劇鑑賞』		昭和17年7月 三田文学出版部
歌舞伎座のクライマックス〔河内山〕	解説	久保琴舟		演芸画報	昭和10・1	演芸画報社
師走の歌舞伎座 〔昭和11・12歌舞伎座〕	劇評	小池孝子		演芸画報	昭和12・1	演芸画報社
青年歌舞伎五周年 〔昭和12・3明治座〕	劇評	小谷青楓		演芸画報	昭和12・4	演芸画報社
大森・河内山・鬼一	芸談	井口政治／編	《7》松本幸四郎	『松のみと里 琴松芸談』		昭和12年3月 法木書店
四月の古典劇を訪ねて 〔昭和13・4明治座〕	劇評	坂本四六三		演芸画報	昭和13・5	演芸画報社
「勝安房の父」と「左小刀」 〔昭和13・5東京劇場〕	劇評	荒川木風		演芸画報	昭和13・6	演芸画報社
歌舞伎座六月興行 〔昭和14・6歌舞伎座〕	劇評	車谷是介		演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
師走の東劇〔河内山・直侍〕	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和15・12	演芸画報社
羽左衛門の五役 〔昭和15・12東京劇場〕	劇評	本山荻舟		演芸画報	昭和16・1	演芸画報社
天衣紛上野初花	研究	三宅周太郎		『歌舞伎研究』		昭和17年12月 拓南社
三月の関西劇壇 〔昭和21・3京都南座〕	劇評	高谷伸		演劇界	昭和21・4	日本演劇社
一つの見方 〔昭和23・4京都南座〕	劇評	関逸雄		幕間	昭和23・5	和敬書店
猿之助の衰退 〔昭和24・4大阪大阪歌舞伎座〕	劇評	沼艸雨		幕間	昭和23・5	和敬書店
世話狂言二種 河内山・加賀鶯	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和24・5	日本演劇社
「春琴」と「熊谷」 〔昭和24・10三越劇場〕	劇評	大木豊		幕間	昭和24・11	和敬書店
女形不足の関西歌舞伎 〔昭和25・3名古屋御園座〕	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和25・4	和敬書店
中村会昼夜 〔昭和25・9東京劇場〕	劇評	戸板康二		劇評	昭和25・9	歌舞伎堂第一書店

中村会評 [昭和25・9東京劇場]	劇評	利倉幸一		幕間	昭和25・10	和敬書店
天衣紛上野初花	解説	戸部銀作		幕間	昭和25・11	和敬書店
大阪方のみない顔見世 [昭和25・12京都南座]	劇評	井上甚之助		幕間	昭和26・1	和敬書店
二度目の三千歳	芸談		《7》尾上梅幸	大川端	昭和26・5	明治座文芸部
河内山の面白さ	鑑賞	渥美清太郎		大川端	昭和26・5	明治座文芸部
黄金の瓶子〔河内山をめぐる捕物綺談〕	小説	脇屋光伸／作 北沢幾人／画		大川端	昭和26・5	明治座文芸部
今月の芸談 河内山と直侍〔河内山〕	芸談		《9》市川海老蔵	劇評	昭和26・5	歌舞伎堂第一書店
紙上舞台中継 天衣紛上野初花 [昭和26・5明治座]	鑑賞	高橋博		劇評	昭和26・5	歌舞伎堂第一書店
季節劇その他 [昭和26・5明治座]	劇評	戸板康二		劇評	昭和26・5	歌舞伎堂第一書店
天衣紛上野初花 [昭和26・5明治座]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和26・6	演劇新社
明治座の菊五郎劇団 [昭和26・5明治座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和26・6	和敬書店
河内山のこと	芸談	《1》中村吉右衛門		『吉右衛門自伝』		昭和26年7月 啓明社
「河内山」と「寺子屋」 [昭和28・2歌舞伎座]	劇評	本山荻舟		演劇界	昭和28・3	演劇出版社
枯木の趣き [昭和28・2歌舞伎座]	劇評	阿部優蔵		幕間	昭和28・3	和敬書店
最高品ということ [昭和28・2歌舞伎座]	劇評	高橋博		劇評	昭和28・3	歌舞伎堂第一書店
五月の関西から [昭和28・5大阪大阪歌舞伎座]	劇評	原田矢絵子		演劇界	昭和28・6	演劇出版社
中村吉右衛門一家の芸面 [昭和28・5大阪大阪歌舞伎座]	劇評	沼艸雨		幕間	昭和28・6	和敬書店
河内山その他 [昭和29・9明治座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和29・10	演劇出版社
幕間随想 貫禄の要る役〔松江侯〕	芸談		《7》坂東彦三郎	幕間	昭和29・10	和敬書店
意気と意欲は別 [昭和29・9明治座]	劇評	本山荻舟		幕間	昭和29・10	和敬書店
飛石ずたいの「中山七里」 [昭和29・9明治座]	劇評	大木豊		劇評	昭和29・10	「劇評」社

一年ぶりの菊五郎劇団 [昭和30・11大阪大阪歌舞伎座]	劇評	菱田正男		劇評	昭和30・12	「劇評」社
片岡直次郎	芸談		《9》市川海老蔵	演劇界	昭和31・2	演劇出版社
三千歳	芸談		《7》尾上梅幸	演劇界	昭和31・2	演劇出版社
金子市と出雲守	芸談		《17》市村羽左衛門	演劇界	昭和31・2	演劇出版社
暗闇の丑松	芸談		《2》尾上九朗右衛門	演劇界	昭和31・2	演劇出版社
河内山宗俊	芸談		《2》尾上松緑	演劇界	昭和31・2	演劇出版社
宗俊・三千歳・実盛他 [昭和31・1新橋演舞場]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和31・2	演劇出版社
幕間随想 河内山のスケール	芸談		《2》尾上松緑	幕間	昭和31・2	和敬書店
初春の二座合評 [昭和31・1新橋演舞場]	劇評	戸部銀作 大木豊		幕間	昭和31・2	和敬書店
水準を上廻る夜の部 [昭和31・1新橋演舞場]	劇評	大木豊		劇評	昭和31・2	「劇評」社
“勝元”のみ [昭和31・3大阪大阪歌舞伎座]	劇評	原田矢絵子		演劇界	昭和31・4	演劇出版社
幕間随想 玄関先のセリフ	芸談		《3》市川寿海	幕間	昭和31・4	和敬書店
幕間随想 矢口への興味[松江侯]	芸談		《13》片岡仁左衛門	幕間	昭和31・4	和敬書店
大阪歌舞伎座三月興行評 [昭和31・3大阪大阪歌舞伎座]	劇評	升屋治三郎		幕間	昭和31・4	和敬書店
猿・寿の歌舞伎に話題となった文楽のお蝶夫人 [昭和31・3大阪大阪歌舞伎座]	劇評	菱田雅夫		劇評	昭和31・4	「劇評」社
片岡直次郎	型	三宅三郎	《9》市川海老蔵	『かぶきを見る眼』		昭和31年9月 新樹社
河内山宗俊	型	三宅三郎	《9》市川海老蔵	『かぶきを見る眼』		昭和31年9月 新樹社
二つの黙阿弥劇 [昭和32・3歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和32・4	演劇出版社
「組打」と「陣屋」の熊谷 [昭和32・3歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和32・4	和敬書店
黙阿弥もの二つ [昭和32・3歌舞伎座]	劇評	仁村美津夫		劇評	昭和32・4	「劇評」社
新春大歌舞伎 [昭和34・1歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和34・2	演劇出版社

幕間随想 難かしい河内山	芸談		《8》松本幸四郎	幕間	昭和34・2	和敬書店
恒例・初芝居の歌舞伎座 [昭和34・1歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和34・2	和敬書店
勘三郎の鏡獅子 [昭和34・1歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		劇評	昭和34・2	「劇評」社
「河内山」と「梅忠」 [昭和35・5歌舞伎座]	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和35・6	演劇出版社
舞踊八、古典二、新作一 [昭和35・5歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和35・6	和敬書店
天衣紛上野初花	解説	菊池明		『演劇百科大事典』	第二巻	昭和35年6月 平凡社 ※演劇博物館／編
手堅いけれど [昭和35・10名古屋御園座]	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和35・11	演劇出版社
勘三郎二役の「夏祭」 [昭和35・10名古屋御園座]	劇評	浜村道哉		幕間	昭和35・11	和敬書店
吉例菊劇団の初春芝居 [昭和37・1新橋演舞場]	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和37・2	演劇出版社
大阪の味・味 [昭和38・9大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	山口廣一		演劇界	昭和38・10	演劇出版社
歌舞伎狂言鑑賞の手引 河内山 天衣紛上野初花	鑑賞	松井敏明		演劇界	昭和40・4	演劇出版社
弁慶、河内山、酒井	芸談		《11》市川団十郎	演劇界	昭和40・4	演劇出版社
三人の秀才兄弟 [昭和40・3歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和40・4	演劇出版社
演出者の言葉	演出	宇野信夫		国立劇場第一八回歌舞伎公演解説書	昭和43・10	国立劇場事業部
明治の黙阿弥	鑑賞	茨木憲		国立劇場第一八回歌舞伎公演解説書	昭和43・10	国立劇場事業部
講談「天保六花撰」について	鑑賞	興津要		国立劇場第一八回歌舞伎公演解説書	昭和43・10	国立劇場事業部
「河内山と直侍」の世界	鑑賞			国立劇場第一八回歌舞伎公演解説書	昭和43・10	国立劇場事業部
芝居を運ぶ江戸の町々	鑑賞	岸井良衛		国立劇場第一八回歌舞伎公演解説書	昭和43・10	国立劇場事業部
「天保六花撰」の人々	鑑賞	神田伯山／談		国立劇場第一八回歌舞伎公演解説書	昭和43・10	国立劇場事業部
みずみずしい江戸切絵図 [昭和43・10国立劇場]	劇評	落合清彦		演劇界	昭和43・11	演劇出版社
古典四狂言 [昭和47・1歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和47・2	演劇出版社

染の関兵衛、吉の土蜘蛛、玉の梅川 [昭和47・12帝国劇場]	劇評	和角仁		演劇界	昭和48・1	演劇出版社
吉右衛門と海老蔵と辰之助と [昭和48・3京都南座]	劇評			演劇界	昭和48・4	演劇出版社
楽しいな舞台三つ [昭和48・8国立劇場小劇場]	劇評	竹越一雄		演劇界	昭和48・9	演劇出版社
ベテランと若手の間 [昭和50・2歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和50・3	演劇出版社
寛永寺の上野 河内山宗春	実説	三田村鳶魚		『三田村鳶魚全集』	第八巻	昭和50年7月 中央公論社
若手の顔見世 [昭和51・5大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	沼艸雨		演劇界	昭和51・6	演劇出版社
「上野初花」の前生と二世新七の作意	鑑賞	井浦芳信		国立劇場第八九回歌舞伎公演解説書	昭和52・12	国立劇場事業部
”天保六花撰”の時代的背景 河内山宗俊の生きた時代	鑑賞	松島栄一		国立劇場第八九回歌舞伎公演解説書	昭和52・12	国立劇場事業部
江戸の空から明治の空へ 黙阿弥の魅力	鑑賞	水野隆		国立劇場第八九回歌舞伎公演解説書	昭和52・12	国立劇場事業部
勘三郎大奮闘の師走興行 [昭和52・12国立劇場]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和53・1	演劇出版社
天衣紛上野初花	鑑賞	藤井康雄		『歌舞伎鑑賞続』		昭和54年6月 ※私家版。
吉例羽子板市 [昭和56・1浅草公会堂]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和56・2	演劇出版社
顔見世の効用 [昭和56・12京都南座]	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和57・1	演劇出版社
黙阿弥・円朝の世界	鑑賞	延広真治		『明治の古典1 怪談牡丹灯籠・天衣紛上野初花』		昭和57年9月 学習研究社 井上ひさし／編
丈高き自己犠牲 [昭和58・6大阪中座]	劇評	植田正弘		演劇界	昭和58・7	演劇出版社
天衣紛上野初花	解説	林京平		『歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
天衣紛上野初花	解説	林京平		『〈新版〉歌舞伎事典』		平成23年3月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
心技充実の松緑の熊谷 [昭和59・5歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	昭和59・6	演劇出版社
「天保六花撰」	研究	延広真治		文学	昭和60・11	岩波書店
私の役づくり 河内山宗俊	芸談	金森和子／編	《2》中村吉右衛門	演劇界	昭和61・1	演劇出版社
適役揃いの通し狂言 [昭和60・12歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和61・1	演劇出版社

「天衣紛上野初花」成立以前「雲上野三衣策前」をめぐって	研究	梅崎史子		芸能	昭和62・8	芸能発行所
中途半端な「井伊大老」劇 [昭和63・9歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和63・10	演劇出版社
天衣紛上野初花 河内山と直侍 対談・黙阿弥をめぐって	対談	河竹登志夫 高瀬精一郎		月刊前進座	第484号	平成2年4月 前進座
ひたすら美しいお俊の心根 [平成2・7歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	平成2・8	演劇出版社
安定ぶり目につく [平成3・10歌舞伎座]	劇評	野村喬		演劇界	平成3・11	演劇出版社
それぞれの初役 [平成5・3歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	平成5・4	演劇出版社
天衣紛上野初花 河内山	鑑賞	石橋健一郎		『歌舞伎見どころ聞きどころ 芸談でつづる歌舞伎鑑賞』		平成5年5月 淡交社
明治座の春の泡雪 [平成6・2明治座]	劇評	中村哲郎		演劇界	平成6・3	演劇出版社
セリフ劇としての「河内山」 [平成7・6国立劇場]	劇評	上総秀郎		演劇界	平成7・7	演劇出版社
創造の「囀山姥」、芸の「河内山」 [平成8・4歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成8・5	演劇出版社
若手のエネルギーが心地よい浅草歌舞伎 [平成10・1浅草公会堂]	劇評	河村常雄		演劇界	平成9・3	演劇出版社
「天衣紛上野初花」伯円「天保六花撰」との比較から	研究	吉田弥生		国語国文論集	第27号	平成10年3月 学習院女子短期大学国語国文学会
好企画の好舞台 [平成10・2名古屋御園座]	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成10・3	演劇出版社
歌舞伎の故郷 [平成11・1歌舞伎座]	劇評	上村以和於		演劇界	平成11・2	演劇出版社
三年続きの初春歌舞伎を寿ぐ [平成12・1大阪松竹座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成12・2	演劇出版社
博多座一周年 粒揃いの舞台 [平成12・6福岡博多座]	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成12・7～8合 併号	演劇出版社
バラエティに富んだ師走歌舞伎 [平成12・12歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成13・2	演劇出版社
黙阿弥と落語・講談	講演	清水一朗		歌舞伎 研究と批評	30	平成14年12月 歌舞伎学会
鼎談「天衣紛上野初花」上演について 黙阿弥 最後の江戸作者	鑑賞	河竹登志夫 《9》松本幸四郎＝九代琴松 織田紘二		国立劇場第二三六回歌舞伎公演解説書	平成15・11	日本芸術文化振興会
講談と天保六花撰	鑑賞	宝井馬琴		国立劇場第二三六回歌舞伎公演解説書	平成15・11	日本芸術文化振興会
芝居と蕎麦屋	鑑賞	笠井俊弥		国立劇場第二三六回歌舞伎公演解説書	平成15・11	日本芸術文化振興会

講談種の黙阿弥物の面白さ [平成15・11国立劇場]	劇評	清水一朗		演劇界	平成16・1	演劇出版社
「河内山と直侍」の成立〈侠〉と〈悪〉のおりなす世界	研究	吉田弥生		歌舞伎 研究と批評		平成16年1月 歌舞伎学会
天衣紛上野初花	鑑賞	神山彰・ 古井戸秀夫／監修		『歌舞伎お作法』		平成16年3月 びあ
背中合わせの〈侠〉と〈悪〉	研究	吉田弥生		『江戸歌舞伎の残照』		平成16年9月 文芸社
俳優論と劇評のはざままで [平成16・11歌舞伎座]	劇評	上村以和於		演劇界	平成17・1	演劇出版社
勘三郎襲名に沸く吉例顔見世 [平成17・10名古屋御園座]	劇評	岡安辰雄		演劇界	平成17・12	演劇出版社
監修の言葉「極大入」作の通し上演	演出	河竹登志夫		国立劇場第二四七回歌舞伎公演解説書	平成17・12	日本芸術文化振興会
『天保六花撰』から『天衣紛上初花』まで	鑑賞	今岡謙太郎		国立劇場第二四七回歌舞伎公演解説書	平成17・12	日本芸術文化振興会
[平成17・12国立劇場]	劇評	児玉竜一		演劇界	平成18・2	演劇出版社
和泉屋清兵衛／河内山宗俊口	解説	寺田詩麻		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
お牧／片岡直次郎／金子市之丞／北村大膳／喜兵衛／暗闇の 丑松／丈賀／蕎麦屋仁八／高木小左衛門／千代春・千代菊／ 伝右衛門／浪路／松江出雲守／三千歳／宮崎数馬	解説	今岡謙太郎		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
「位取り」ということ [平成18・11歌舞伎座]	劇評	犬丸治		演劇界	平成19・1	演劇出版社
三つ星に山城屋と松嶋屋 [平成19・11京都南座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成20・2	演劇出版社
吉右衛門の三役 [平成20・9歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成20・11	演劇出版社
襲名効果を実感 [平成20・10名古屋御園座]	劇評	中村桂子		演劇界	平成20・12	演劇出版社
家の芸を並べると [平成21・9歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成21・11	演劇出版社
河内山／雲上野三衣策前／天衣紛上野初花	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題 中』		平成22年3月 日本芸術文化振興会 ※「歌舞伎資料選書・11」
東京以外で初の團菊祭 [平成22・5大阪松竹座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成22・7	演劇出版社
演舞場初の顔見世興行 [平成22・11新橋演舞場]	劇評	小玉祥子		演劇界	平成23・1	演劇出版社
染五郎型「鯉つかみ」大成功 [平成23・4香川金丸座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成23・6	演劇出版社

海老蔵の成果と課題 [平成23・9大阪松竹座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成23・11	演劇出版社
六代目勘九郎の誕生 [平成24・2新橋演舞場]	劇評	水落潔		演劇界	平成24・4	演劇出版社
天衣紛上野初花	解説	今岡謙太郎		『(最新)歌舞伎大事典』		平成24年7月 柏書房 神山彰・丸茂祐佳・児玉竜一／編集 富澤慶秀・藤田洋／監修
光る佐吉と知盛 [平成24・7大阪松竹座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成24・9	演劇出版社
吉右衛門の奮闘公演 [平成24・9新橋演舞場]	劇評	水落潔		演劇界	平成24・11	演劇出版社
柔と剛を演じ分けた勘九郎 [平成25・2福岡博多座]	劇評	亀岡典子		演劇界	平成25・4	演劇出版社
幸四郎 悪の華二輪 [平成25・9新橋演舞場]	劇評	水落潔		演劇界	平成25・11	演劇出版社
家の芸二つ [平成27・1大阪松竹座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成27・3	演劇出版社
「信長」と「河内山」 [平成27・11歌舞伎座]	劇評	犬丸治		演劇界	平成28・1	演劇出版社
芝翫親子の情と気迫 [平成29・6福岡博多座]	劇評	亀岡典子		演劇界	平成29・8	演劇出版社
新幸四郎の弁慶 [平成30・7大阪松竹座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成30・9	演劇出版社
昼夜で初代以来の当り役 [平成30・9歌舞伎座]	劇評	小玉祥子		演劇界	平成30・11	演劇出版社
令和の初芝居 [令和2・1歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	令和2・3	演劇出版社